

2017年5月31日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市菅野2-14-14-206
 Tel/fax 047-323-3640
 携帯 090-6310-3294
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ
 http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員
清水みな子
 あおぞらメール No.101



待機者ゼロの会が国交省交渉 特養ホームの増設を



右から3番目が斉藤和子衆議院議員、右隣が岡田幸子県議、ゼロの会メンバー

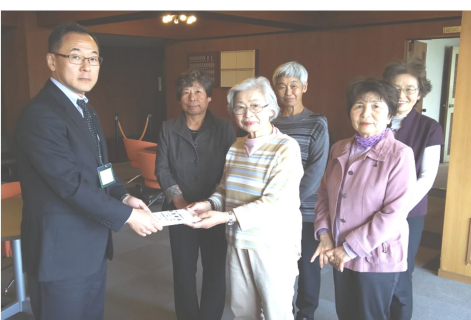
市川の特別養護老人ホーム待機者ゼロをめざす会（「ゼロの会」）は、5月19日、国交省と財務省に、曾谷6丁目の代替地などの国有地を有効活用し、特養ホーム建設に力を尽くしてほしいと要請しました。斉藤和子衆議院議員も同席しました。

千葉県は特養ホームの数が、人口比で全国46番目に少ない県になっています。他市ではこの間の努力で、特養ホームの数

が増えています。市川市は13施設ですが、千葉市は58、船橋市は27、松戸市は28、柏市は24となっています。

その時には、待機者も900名を超えていました。市川市長や国土交通省、関東財務局へも要望書を提出するなど、特養

5年前から運動は始める
 5年前に発足した「ゼロの会」は、曾谷6丁目の外環代替地が20年以上、そのままになってい、特養ホームも保育園も建てられる広さがあると、署名活動をはじめました。



外環代替地はそのまま
 外環道路がすべて開通するまでは、これまで国交省が持っている代替地はそのまま、国交省が所管するといっています。

ホーム増設を求めてきました。3年ごとの計画のなかで、26年までの3年間で200床（特養ホーム2カ所）しか増設してこなかった計画を6期（27年から29年）計画で27年度（初年度）から100床増やす計画を立てました。一定の前進ですが、まだまだ足りません。

市にも署名提出し要望
 特養待機者は、政府が介護度3以上としたために、市内で900人以上いた待機者が475人となりましたが、特養ホームの空きを何年も待っている人、介護離職を余儀なくされている人など、たくさんいることが署名活動ではわかります。累計で1万5千筆以上を提出しました。さらに、福祉部と外環推進室との懇談も行い、特養ホーム増設を求めています。

政府はこの間「介護離職ゼロ」を実現するために、国有地を有効活用して介護施設等の整備を促進することとし、社会福祉法人の初期投資を少なくするため、10年間は貸付料の5割減額するとしており、対象地域は東京や千葉県を含む8都府県となっています。これまでに、千葉県稲毛区でグループホームと特養ホームの2カ所での制度を使っています。市川でもぜひ、代替地を活用して特養ホームを増やすように市に要望したいと思っています。

千葉県は特養ホームの数が、人口比で全国46番目に少ない県になっています。他市ではこの間の努力で、特養ホームの数が増えています。市川市は13施設ですが、千葉市は58、船橋市は27、松戸市は28、柏市は24となっています。

市民監視の共謀罪

松川事件の関係者が語る



中央に立っているのが阿部市次さん。左後ろに見えるのが「松川の記念塔」。公園になっています。

20回目を迎えた国民救援会本部主催の歴史探訪は「松川事件を訪ねる旅」でした。新緑の美しい5月9日に福島市へ。現地では、松川事件を国連教育科学文化機関「ユネスコ」の世界記憶遺産に登録しようと署名運動を進めています。翌10日には、「ユネスコ」に松川資料5種類400点を申請しました。認定は2年後、だそうです。

戦後最大の冤罪事件・松川事件は、1949年8月未明に福島市松川町で何者かの工作により、列車が転覆、乗務員3人が死亡。その犯人として、

国鉄労組から10人、東芝労組から10人が逮捕、起訴されたものです。一審では死刑を含む全員有罪判決でした。その後、15年間で5回の裁判をたたくかい、63年全員無罪が確定しました。全国で被告・家族を守ろうと運動も広がり、党派を問わず弁護士にも全国から加わり、学者・文化人・海外からも幅広い支援運動が広がり、無罪を勝ち取りました。この15年間のたたかいの記録が、福島大学の保管されています。

元被告が語る「共謀罪」

元被告の方で、生存者は4人です。そのおひとり、福島市在住の阿部市次さん(93)が、歴史探訪で参加した私たちを出迎えてくれました。事件当時のこともすっかり鮮明に覚えていて、事件現場で説明してくれました。また阿部さんは、4月「東京新聞」のインタビューに答えて「共謀罪」について、「実行為なしに、何にでも適用される。反対勢力を追い落とす権力の横暴に歯止めがかから

無料法律相談

◎7月11日(火)

担当 中丸素明弁護士

◎8月8日(火)

担当 藤野善夫弁護士

午後2時から5時まで

相談時間はひとり30分

予約は清水または控え室。

なくなる」「反対だ」と語りました。松川事件では、別件の暴行罪で逮捕された少年の自白を根拠に逮捕されました。裁判のなかでは、その「自白」は虚偽であったと認定されたのです。

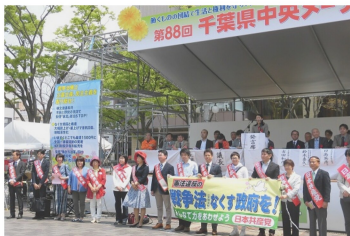
かならず廃案に

これまで3度、国会で廃案になった「共謀罪」を安倍政権は数の力で押し通そうとしています。ぜひに許すわけにはいきません。戦前の「治安維持法」のように内心の自由も奪う、密告社会にもなるこの「共謀罪」法案を廃案にするために、全力で取り組みたいと思います。

《主な活動報告 5月》

☆5月1日 千葉中央メーデーに参加

千葉市中央公園には、団体旗を持った大勢の労働者が集まりました。政党挨拶として、斉藤和子衆議院議員が力強く挨拶。参加した地方議員も前列に並びました。その後、



☆4月14日 南関東ブロック前進座観劇会

今年で5回目となる日本共産党南関東ブロックの前進座貸切公演は、国立劇場で行われました。山田洋次氏の監修・脚本とあって、寅さんを彷彿させる場面もいっぱいありました。笑っぱなしの3時間でした。

志位委員長も観劇し、役者も「しい、しい」などと笑わせていました。

観劇の最後は、花道から志位委員長、畑野君枝、斉藤和子衆議院議員が舞台へ、花束を贈呈。「前進座を見た後は、全戦全勝、間近に迫っている都議選勝利へ全力をあげましょう」と挨拶しました。



☆5月25日 市川市「いちされん」総会

市内で障害者施設の運営に携わる法人などでつくる「いちされん」の総会が開かれました。支援学校などを卒業したあとの就労先で、一緒に支えている皆さんです。年々障害をもった子どもたちも増えているようで、行政ももっと力を入れなければならないと思います。